

毎週日曜発行
2025 7/27

こども新聞
週刊

がほピヨンぷりす



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

28

2018年7月、西日本を襲った記録的な豪雨は、岡山県倉敷市真備町に甚大な被害をもたらしました。
この災害ではハザードマップが作成されていたにも関わらず、住民の多くが水害のリスクを自分の生活に結び付けていなかったことが、避難の遅れにつながったと考えられています。
国連の防災指針である

「仙台防災枠組」には、優先すべき行動として「災害リスクの管理」という考え方があります。これは、日頃から「災害が自分や家族にどのような影響を及ぼすか」を具体的に想定し、対策を決めておくものです。
例えば、車の運転では「スピードの出し過ぎが事故につながる」と想定しているからこそ、リス

クを減らす対策としてシートベルトを締め、安全運転を心がけます。これは、原因（スピードの出し過ぎ）と結果（事故による被害）のつながりをイメージしやすく、自分の行動が安全に直結すると分かっているからです。
しかし、大雨災害では「雨が降ると、なぜ避難が必要なのか」といった

つながりが見えにくく、自分への影響（自分が受ける被害）を実感しづらいのが現実です。そのため、大雨が自分の身の回りにもたらす具体的な被害を想定する力が求められます。
皆さんが暮らす地域でもハザードマップが作成されています。ハザードマップを確認しながら、家族や自宅にどんな被害が及ぶかを具体的に洗い出してみましよう。

に、どのように避難するか、被害を軽減するため何を準備するかといった対応策を考えることが、大雨災害のリスク管理には欠かせません。
過去の災害から教訓を学び、自分の暮らしの中で起きた場合を具体的に想定し、あらかじめ対策を決めておくことで、災害により自らが受ける被害は、減らすことができます。

大雨災害への備え

暮らしの中から洗い出し

大雨が降ったら どうする？

ひとりで家にいるときは
どうしよう？

学校から
帰れるかな？

通学路は
浸水しない
かな？



イラスト・多田健一郎

大事なポイント

ハザードマップを見ながら・・・

- 自分の生活への影響を具体的に考えよう！
- あらかじめ、どう行動するかを決めておこう！



この日 何の日

◇27日(日) 親子の日

親と子の関係を見つめ直して絆を強める日。米国人写真家ブルース・オズボーン氏らが提案しました。5月第2日曜が「母の日」、6月第3日曜が「父の日」であることから、7月第4日曜を記念日にしました。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ